

平成31年度 一般会計当初予算

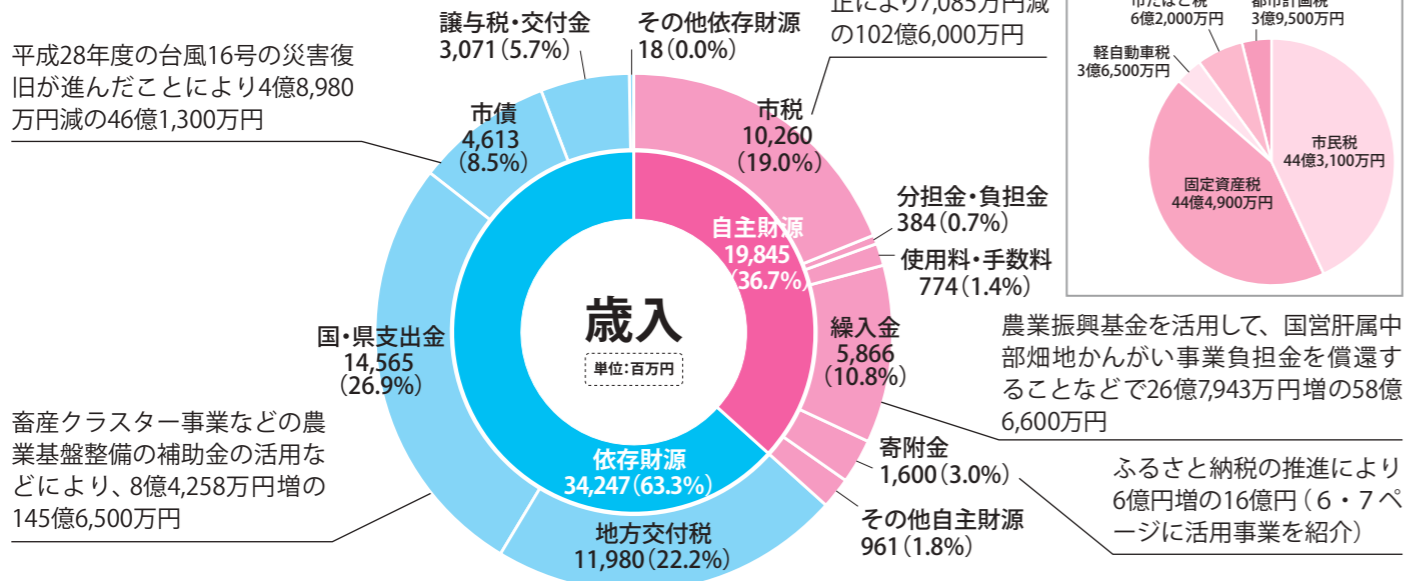
過去
最大規模

540億9,200万円

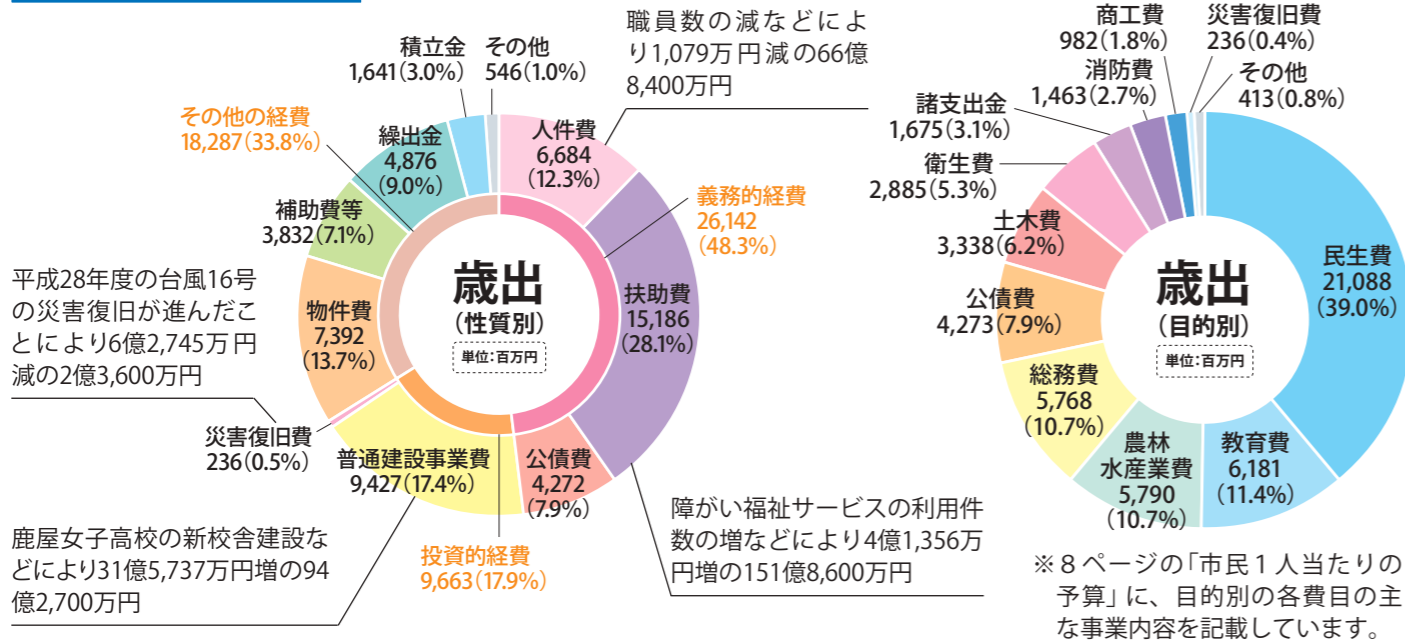
平成30年度の実質的当初予算である6月補正予算と比較すると、7.2%の増となりました。
ここでは、歳入・歳出における前年度比較の主な増減要因について説明します。

市財政課 Tel.0994-31-1126

■歳入 (540億9,200万円)



■歳出 (540億9,200万円)



■特別会計・水道事業会計予算

特別会計区分	平成31年度予算額	対前年度比
国民健康保険事業	112億6,559万6千円	1.0%
後期高齢者医療	13億2,846万8千円	3.2%
介護保険事業	110億9,598万1千円	3.6%
公共下水道事業	10億8,177万8千円	2.2%
下水道事業	7,166万3千円	△13.0%
合計	247億6,988万6千円	2.3%

区分	平成31年度予算額	対前年度比
収益的収入	17億8,904万2千円	1.1%
収益的支出	15億8,789万7千円	1.0%
資本的収入	5,223万4千円	112.3%
資本的支出	6億8,166万7千円	19.9%

市民の皆様と共に

ぬくもりと豊かさを 実感できる 明るい未来づくりの 実現へ

今号は、2月21日開会の鹿屋市3月議会定例会で中西茂市長が述べた市政運営の基本方針となる施政方針の概要と、3月20日に議決された平成31年度当初予算について紹介します。

●施政方針

私が2期目の市長に就任して、1年余りが経過したところであり、市民の皆様と共にぬくもりと豊かさを実感できる明るい未来づくりの実現に向けて市政運営に取り組めたことは、皆様のおかげで深く感謝申し上げます。今年、4月30日(今上天皇が退位され、翌5月1日からは新天皇の即位により、新しい元号になることが決定しております。昭和から平成に移り変わった頃に比べ、現在は、これまでに経験したことのないスピードで変革しており、IT化やグローバル化の進展、価値観やライフ

スタイルの多様化など、めまぐるしい変化を遂げております。特に、IoT(モノのインターネット)やAI(人工知能)、ロボットなどの新技術により、産業分野においてはもちろんのこと、働き方においても大きく変化していくことが予想されます。市政運営におきましても、IT技術を活用し、ビッグデータに裏づけされた根拠に基づいた政策立案や、時代に乗り遅れないタイムリーな情報収集に努め、何事にも果敢に取り組んでまいります。

このような中、これからの6年間の市政運営の羅針盤となる第2次鹿屋市総合計画をスタートさせることとしております。

昨年は、明治維新150年の年でしたが、幕末英傑の一人、西郷隆盛は、論語を引用し「意なく、必なく、固なく、我なし」という言葉を遺しています。これは、主観だけで憶測する、自分の考えを無理に押し通す、一つの判断に固執する、自分の都合だけしか考えない、という自らの4つの心をなくすという、克己を成し遂げるための教えであり、広く意見を聞くことが重要であると述べているのだと思います。市政運営に当たっては、皆様との対話を基本として、各地域に足を運び、皆様の声にもしっかりと耳を傾けて、鹿屋市の明るい未来を築いてまいります。

「4つの戦略」と「市政運営」

- 1 雇用と所得につながる力強い産業をおこすまちづくり
 - 2 笑顔あふれる安心・安全なまちづくり
 - 3 心豊かに学び、地域文化を育むまちづくり
 - 4 生き生きと快適に暮らせるまちづくり
- ◆ もっと身近な、もっと熱い、もっと分かり易い 市政運営

《平成31年3月鹿屋市議会定例会 中西茂市長施政方針より抜粋》
※施政方針の全文は、市ホームページに掲載しています。

新「副市長」を紹介します

今崎裕一氏の副市長退任に伴い、3月20日、3月議会定例会で、新副市長に宮地修平氏が(42歳)が選任され、4月1日から就任することになりました。



副市長に就任する
宮地 修平氏

【経歴】
琉球大学農学部卒業後、平成13年に農林水産省に入省し、生産局農産部技術普及課長補佐、生産局農産部農業環境対策課課長補佐等を歴任。



鹿屋市長 中西茂